

Infoblox IPAM との統合のためのサンプル拡張

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[インストール](#)

[設定](#)

[Infoblox グローバル変数の設定](#)

[Extension: Get Infoblox IP の追加](#)

[Extension: Return Infoblox IP の追加](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Infoblox™ IPAM の統合にネットワークのためのサードパーティ IPアドレス管理システムが Cisco Intelligent Automation for Cloud の型外部として識別したようにサンプル拡張を提供したものです。

[はじめに](#)

[要件](#)

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- プロセスを編集できる Cisco Process Orchestrator の有効なログイン クレデンシャル
- Cisco Process Orchestrator が使用する Infoblox ソフトウェアの有効なログイン クレデンシャル

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Intelligent Automation for Cloud 3.1.1 (任意のエディション)
- Infoblox Perl モジュールと ActivePerl がインストールされた Cisco Process Orchestrator 2.3.5 Infoblox Perl モジュールは、次の URL の Infoblox サーバからダウンロードできます。
<http://<INFOBLOXSERVER>/api/dist/ppm>
- NIOS リリース 5.1r2-100-126445 以降を実行する Infoblox IPAM

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

インストール

1. Cisco Process Orchestrator サーバで、*iac* という名前のディレクトリを C: ドライブに作成します。 `mkdir c:\iac` 注: *c:\iac* 以外のディレクトリを使用する場合、ローカル ディレクトリ変数 *Infoblox folder* (プロセス *Extension: Get Infoblox IP* および *Extension: Return Infoblox IP*) をフォルダの実際のパスに更新する必要があります。
2. Infoblox Perl モジュール フォルダを *c:\iac* にコピーします。結果は *c:\iac\Infoblox* になります。
3. ActivePerl Perl Package Manager を開きます。
4. Infoblox Perl モジュールをリポジトリ名 *Infoblox* およびファイル ロケーション `file:///C:/iac/Infoblox` のリポジトリとして追加します。
5. Crypt-SSLeay Perl モジュールをインストールします。
6. Infoblox Perl モジュールをインストールします。
7. Perl Package Manager を閉じます。
8. Cisco Process Orchestrator Server を再起動します。
9. Cisco Intelligent Automation for Cloud Extension Samples tap をインポートします。

設定

このドキュメントで説明されている機能を設定するには、このセクションのステップを完了します。

1. [Infoblox グローバル変数の設定](#)
2. [Infoblox Extension: Get Infoblox IP](#) の追加
3. [Infoblox Extension: Return Infoblox IP](#) の追加

Infoblox グローバル変数の設定

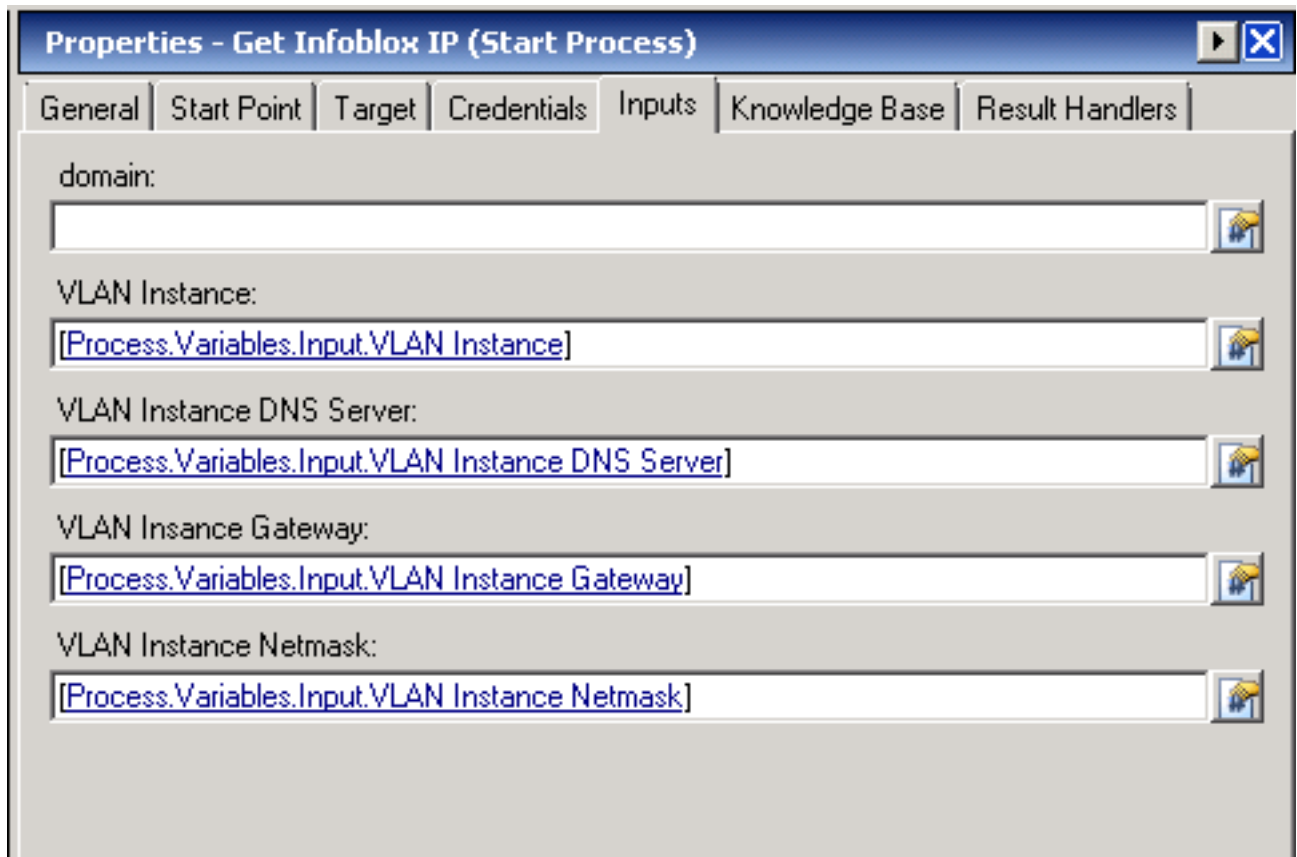
Infoblox に定義されている次のグローバル変数を設定します。

- Infoblox Master
- Infoblox User
- Infoblox Password

注: これらの変数の情報は、Infoblox 管理者により提供されます。

Extension: Get Infoblox IP の追加

1. **Get IP Address >> User Defined** ワークフローを編集します。
2. **Extension: Get Infoblox IP** プロセスをワークフローに追加します。
3. [Inputs] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。



4. **Set Multiple Variables** をワークフローに追加します。
5. [Variables] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。

Properties - Set Multiple Variables (Set Multiple Variables)

General | **Variables** | Knowledge Base | Result Handlers

Variables to set:

Variable: [Process.Variables.Output.IP Address]

New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.IP Address]

Variable: [Process.Variables.Output.Gateway]

New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.IP Gateway]

Variable: [Process.Variables.Output.Netmask]

New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.IP Netmask]

Variable: [Process.Variables.Output.DNS Server]

New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.IP DNS Server]

Variable: [Process.Variables.Output.VLAN Object Reference]

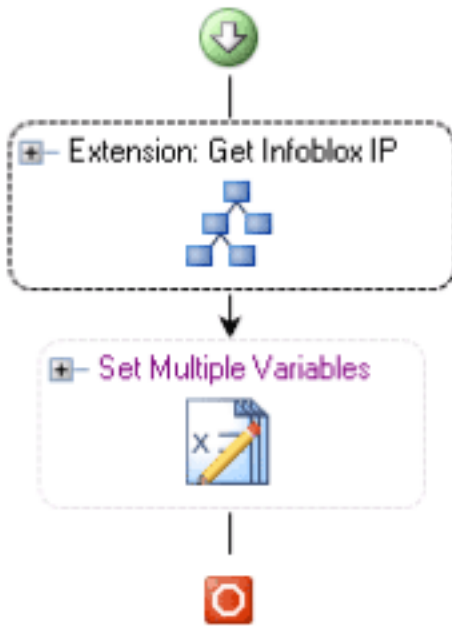
New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.VLAN Object Reference]

Variable: [Process.Variables.Output.Service Item Record Name]

New value: [Workflow.Extension: Get Infoblox IP.IP Address Record Name]

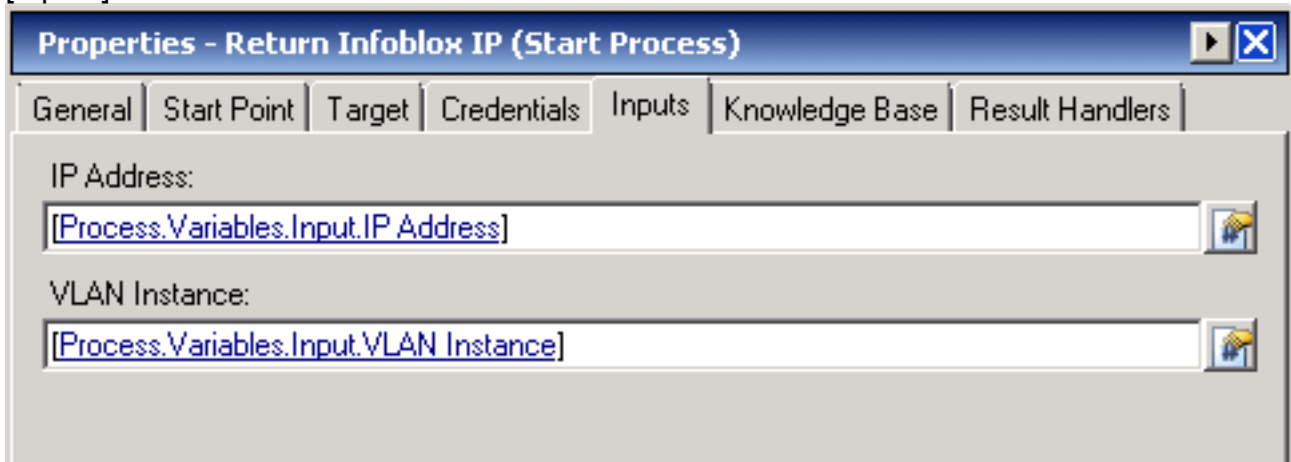
この手順が完了すると、ワークフローは次の画像のように表示されます。

Get IP Address >> User Defined



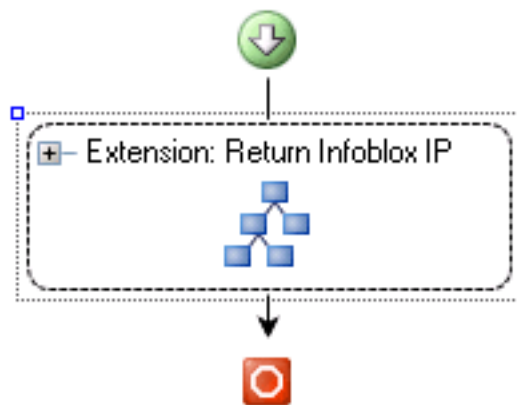
[Extension: Return Infoblox IP](#) の追加

1. Return IP Address >> User Defined ワークフローを編集します。
2. Extension: Return Infoblox IP プロセスをワークフローに追加します。
3. [Inputs] タブで、次のテーブルの値を追加します。設定例を次の画像に示します。



この手順が完了すると、ワークフローは次の画像のように表示されます。

Return IP Address >> User Defined



関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)